

2007年3月期 決算説明会

2007年4月27日



株式会社 豊田自動織機
TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION

・決算サマリー

2007年3月期 決算実績

8 期連続で増収・増益

(億円)

	07/3	06/3	増減	増減率
売上高	18,783	15,059	+3,724	+24.7%
営業利益	899	640	+259	+40.5%
経常利益	1,084	806	+278	+34.5%
純利益	594	470	+124	+26.3%

2008年3月期 決算予想

9 期連続で増収・増益の見込み

(億円)

	08/3 予想	07/3	増減	増減率
売上高	19,500	18,783	+717	+3.8%
営業利益	950	899	+51	+5.6%
経常利益	1,150	1,084	+66	+6.0%
純利益	630	594	+36	+5.9%

. 2007年度 会社方針

2007年度 会社方針

基本指針

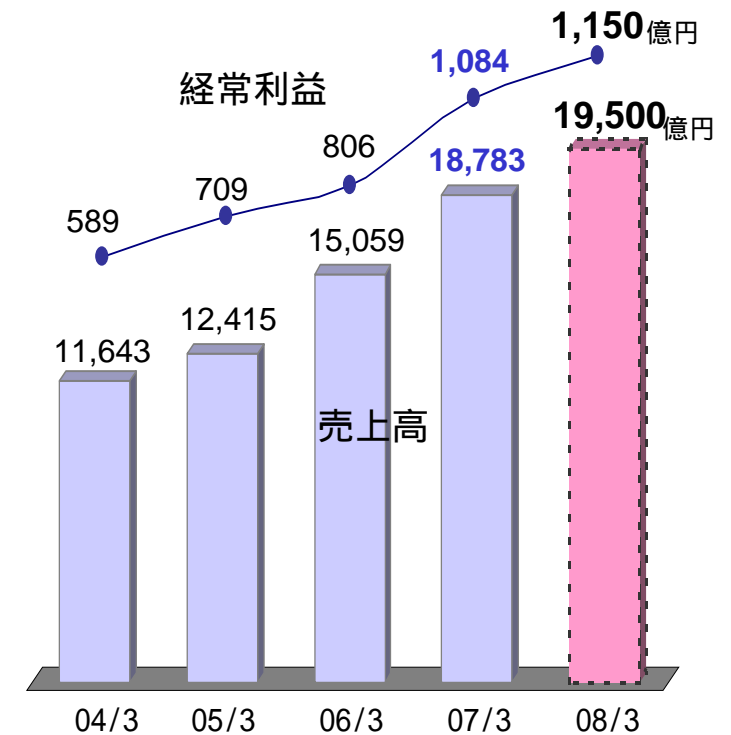
- フェアで誠実な企業文化を守る
- 安全第一を徹底する
- 活気ある職場づくりを進める

事業指針

- 事業単位での連結経営の強化
- 源流、工程での品質・原価のつくり込み
- 環境経営の推進
- 技術研究開発の強化
- 営業・マーケティング力の向上

2007年度 目標値

売上高	1兆9,500億円
経常利益	1,150億円



人材教育の取り組み

G型織機の機構を学ぶ実習



全新入社員を対象に、
豊田佐吉の設計思想を伝承

T P S 道場



継続的な改善活動で、ものづくり
を推進できる人材を育成

若手技能者の育成



技能専修学園で、学科・実技・
心身を3本柱に技能者を育成

技術基礎教育



基礎技術の教育を通して、
ものづくりに強い技術者を育成

階層別教育



入社年度・資格別に、各階層
に必要な知識やスキルを習得

グローバル人材の育成



語学力・国際感覚の養成を
通してグローバルな人材を育成

・決算詳細

2007年3月期 決算実績

8 期連続で増収・増益

(億円)

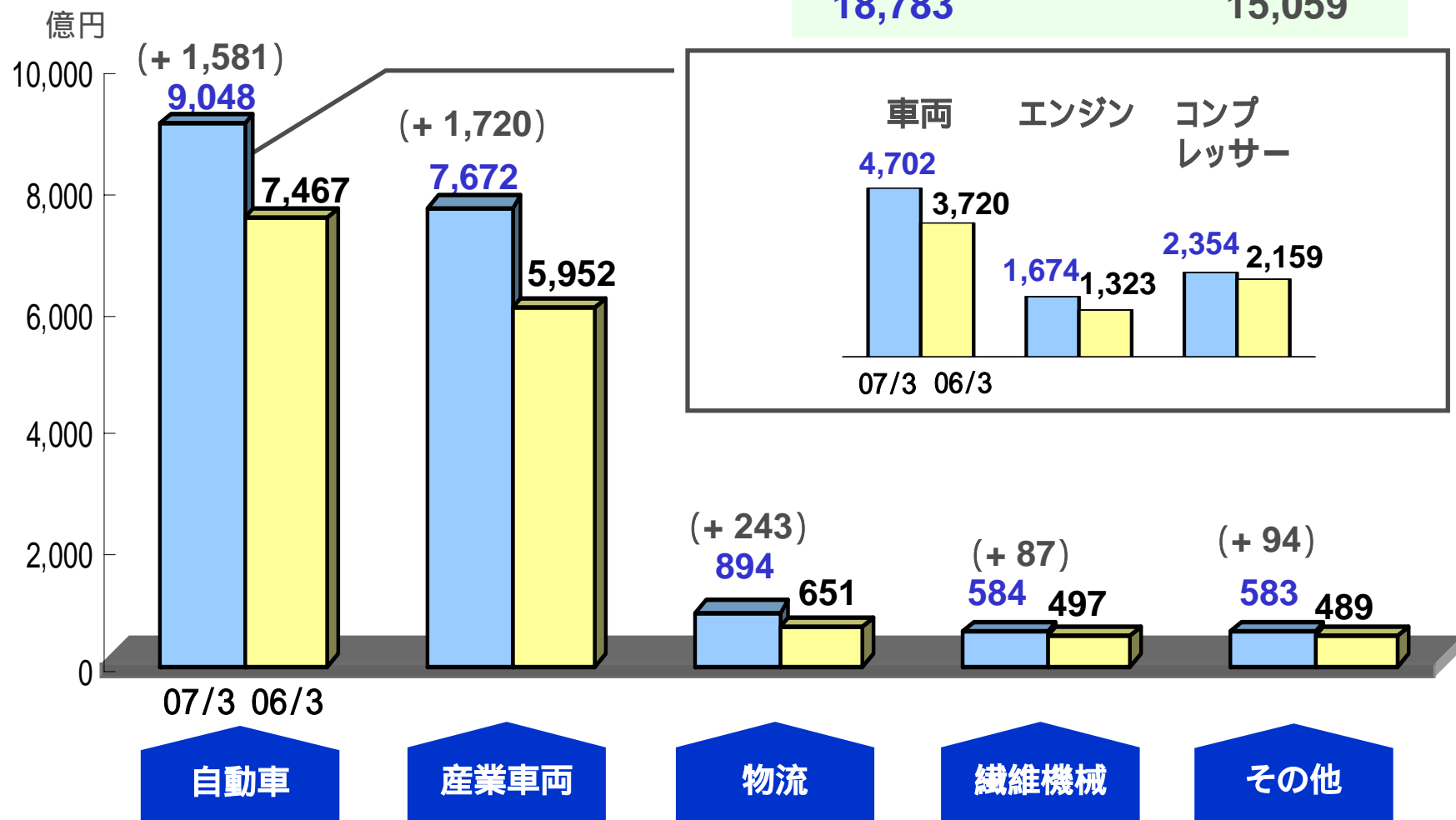
	07/3	06/3	増減	増減率
売上高	18,783	15,059	+3,724	+24.7%
営業利益	899	640	+259	+40.5%
経常利益	1,084	806	+278	+34.5%
純利益	594	470	+124	+26.3%

事業別セグメント売上高

2007年3月期 決算実績

すべてのセグメントで増収

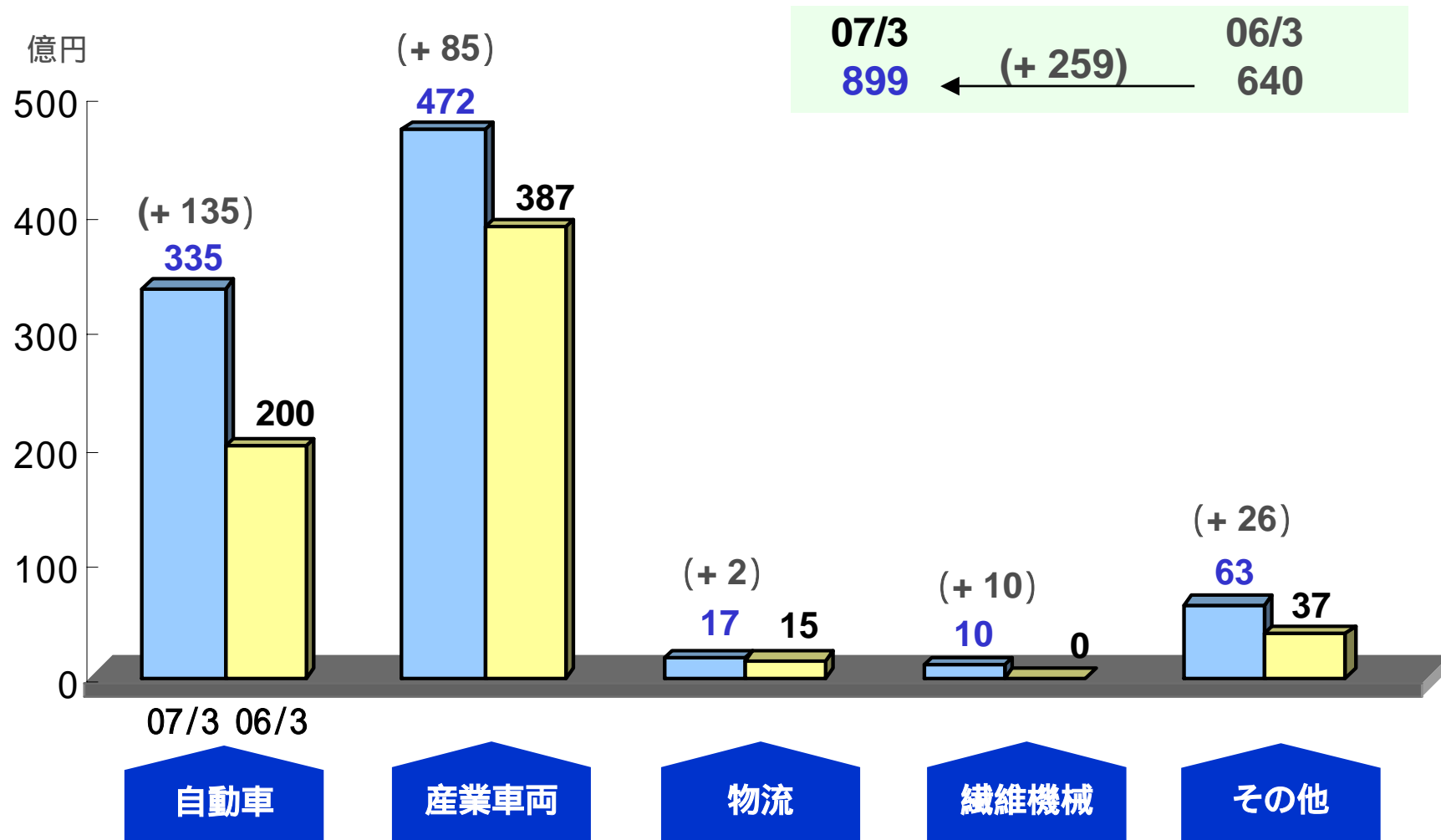
07/3 \leftarrow (+ 3,724) 06/3
18,783 15,059



事業別セグメント営業利益

2007年3月期 決算実績

すべてのセグメントで増益

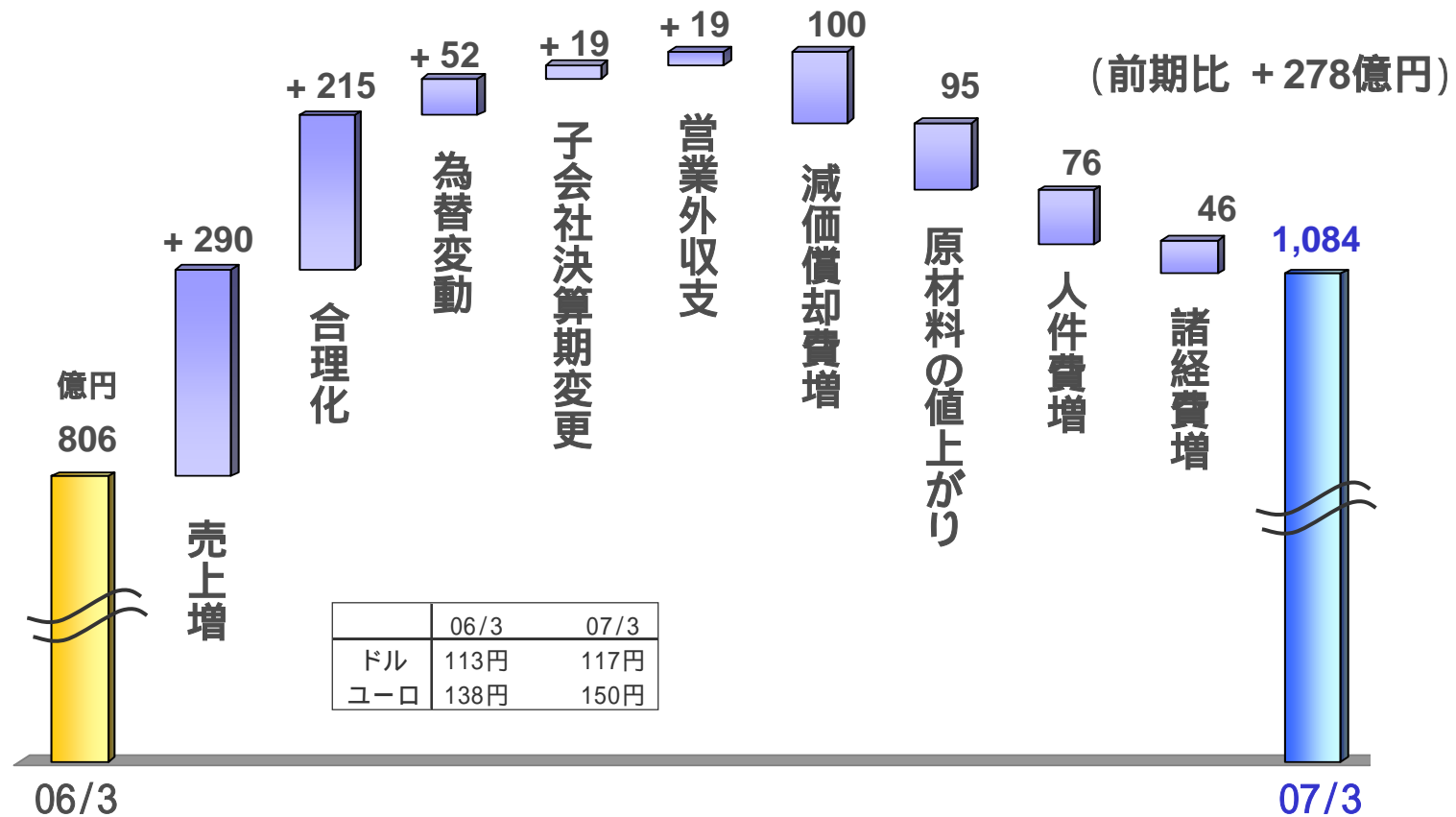


経常利益の増減要因

2007年3月期 決算実績

売上増、合理化により減価償却費増、原材料の値上がりなどをカバー

(06/3 と 07/3 の比較)



2008年3月期 決算予想

9 期連続で増収・増益の見込み

(億円)

	08/3 予想	07/3	増減	増減率
売上高	19,500	18,783	+717	+3.8%
営業利益	950	899	+51	+5.6%
経常利益	1,150	1,084	+66	+6.0%
純利益	630	594	+36	+5.9%

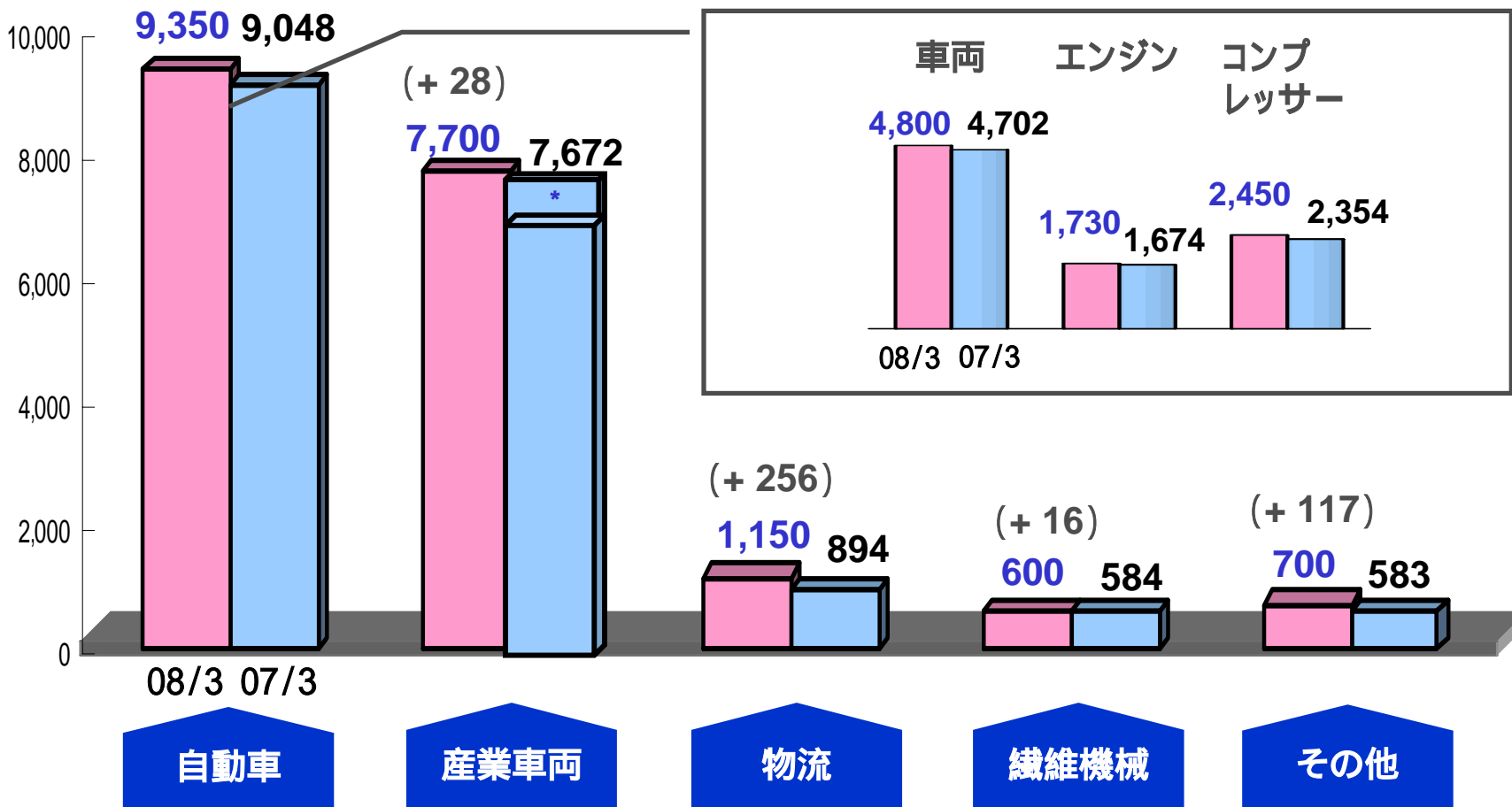
事業別セグメント売上高

2008年3月期 決算予想

すべてのセグメントで増収の見込み

08/3 19,500 ← (+ 717) → 07/3 18,783

億円 (+ 302)



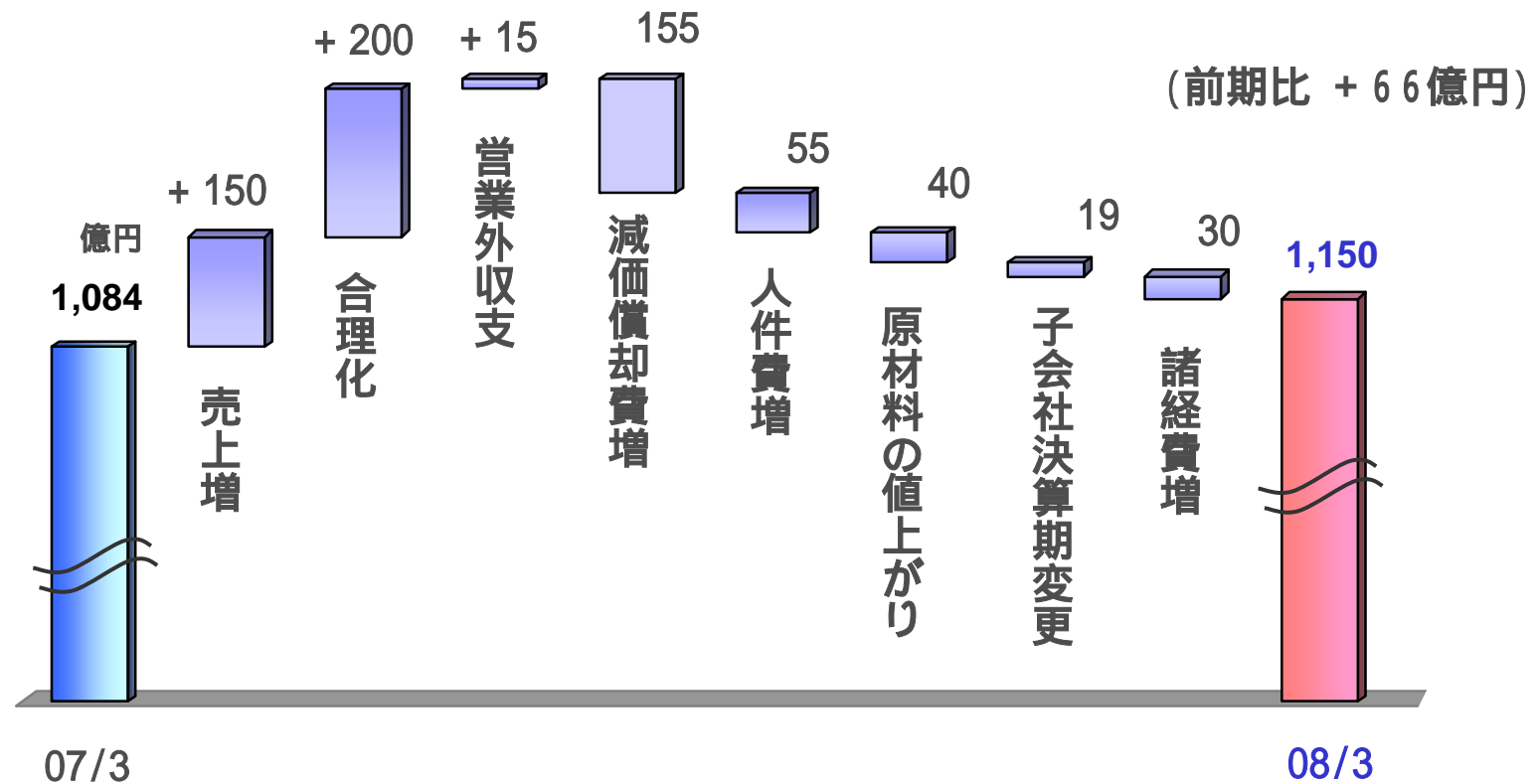
* B T 決算期変更による影響額 647億円

経常利益の増減要因

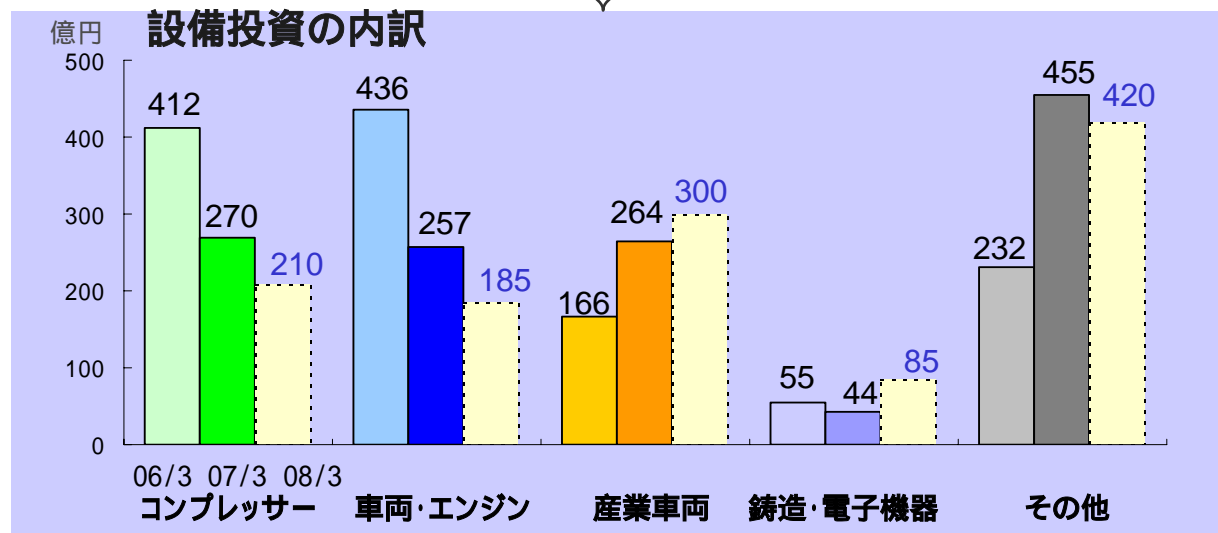
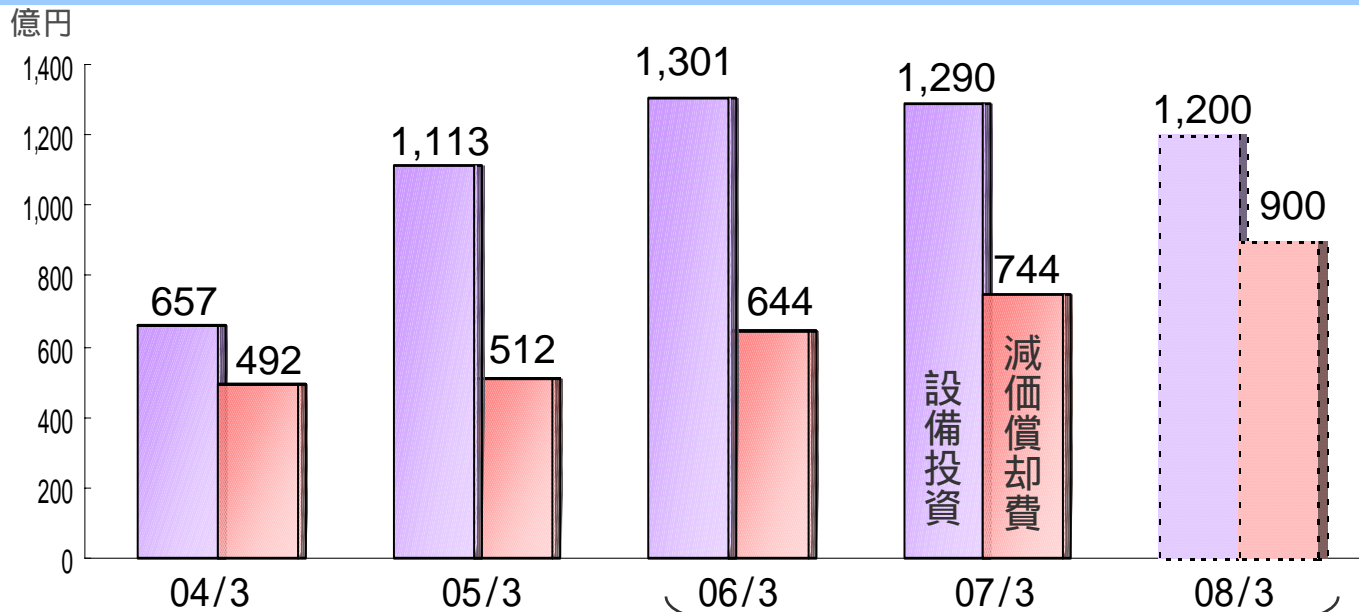
2008年3月期 決算予想

売上増、合理化により減価償却費増、人件費増などをカバー

(07/3 と 08/3の比較)

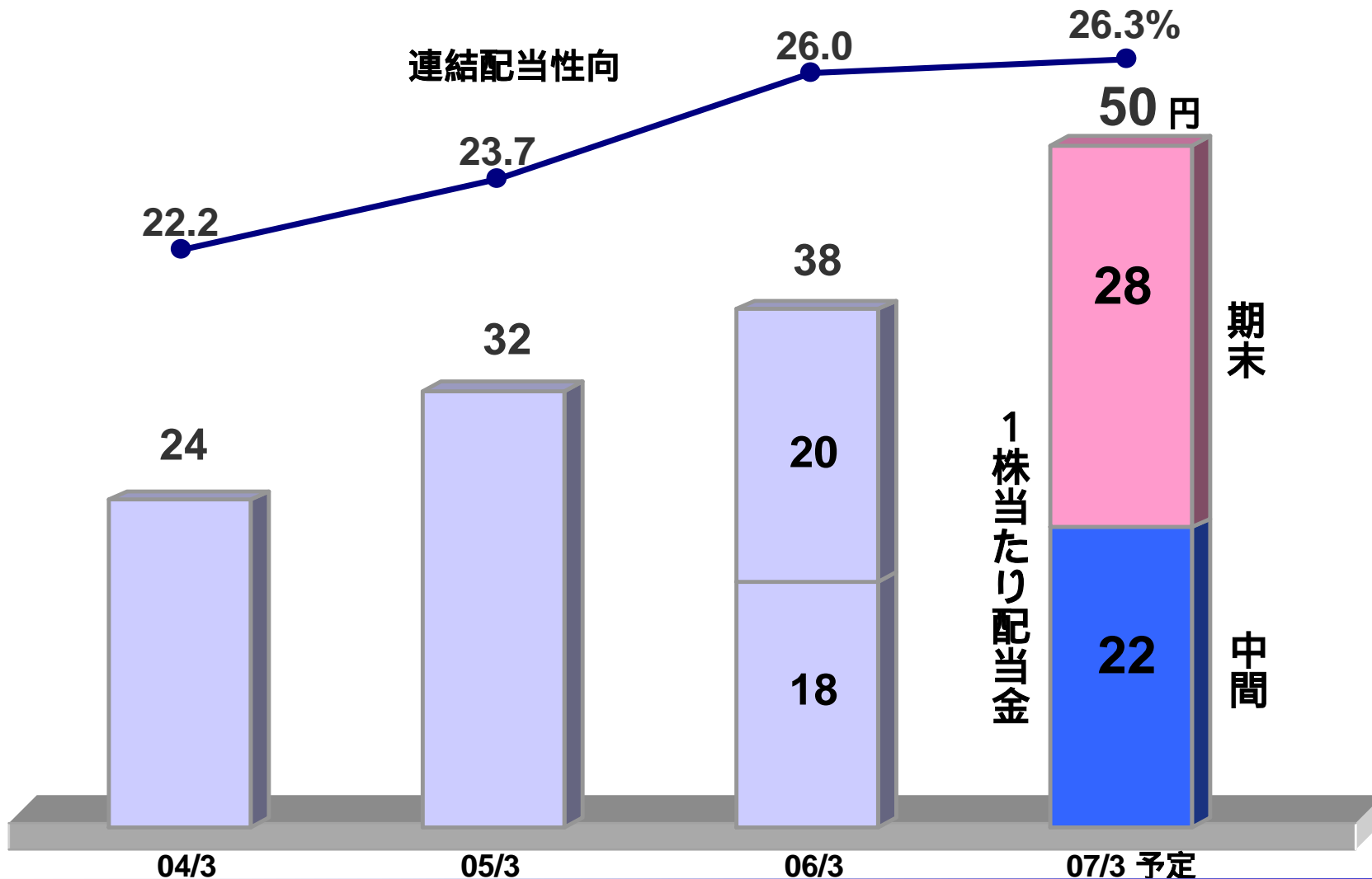


設備投資・減価償却費



配当金

前期比12円増配の 50円の予定



将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しのみで全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。

実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。